

ACE

燃料電池評価装置の流量検定サービス

Quick Flow Inspection Service for FCT.

燃ガス流量の精度は、燃料電池の発電特性に大きく影響を与えます。マスフローコントローラー(MFC)の経年的劣化によって生じる流量誤差を校正するために、MFCを評価装置に搭載した状態で流量検定する、**クイック流量検定サービス(QFIS: Quick Flow Inspection Service)**を開始しました。

検定プロセス

従来サービス

- ①MFCを装置から外す
- ②メーカーに発送
- ③メーカーで校正(2-4weeks)
- ④MFCを装置に設置
- ⑤リークチェック、動作確認
- ⑥試験再開

新サービス

クイック流量検定サービス

- ①サービス員を現地に派遣
- ②評価装置についてそのまま検定(1DAY)
- ③試験再開



利点

- MFC単体ではなく、装置に設置されたFCと同じ状態で精度検定ができます。
- 通常MFCの校正には、2~4週間かかりますが、たった一日で検定(校正)します。
- メーカー校正より、低コストで流量検定(校正)が可能です。

サービス内容

- | | | |
|---------|-------|--|
| ○ガス種 | | H2, Air, N2, CO2 などの実ガス対応(但し、腐食性ガスは不可) |
| ○流量 | | 5NmLPM~50NLPM |
| ○検定精度 | | ±0.5%RD |
| ○検定流量計 | | 標準:5点(2%, 25%, 50%, 75%, 100%) |
| ○流量検定器 | | ピストンルーバ方式(NIST適合品) |
| ○検定(校正) | | 基本サービスは検定です。校正は別途相談願います。 |
| ○その他診断 | | 流量検定以外に、MFCのふらつき、ノイズ診断を実施します。 |